

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	建築基準法に基づき限られた空間の中で、事故や怪我がないように配慮しながら行っている。	
	2 職員の配置数は適切である	必要な時には他教室からヘルプを要請することが出来る。	一人一人の職員のスキルアップを常に意識し、振替や追加等で利用児童が増えた際にも問題なく対応できるよう環境を整える。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	視覚的な環境整備をしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	毎日掃除、器具の消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	活動の前後に確認と振り返りを行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	必要に応じてフィードバックで保護者様の意向の確認を行っている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	自己評価表をHPで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現状は第三者評価を受ける体制にはなっていないが、昨今の社会情勢を鑑みると今後必要になってくると思われる。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	会社内で必要な研修が受けられるよう配慮されている。	外部機関との合同研修に参加できる機会を増やせるようにする。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	職員全員が個別支援計画を作成するにあたって当事者意識を持ち、課題等のMTGを丁寧に行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	子ども一人ひとりのサービス計画に沿って、基本活動(自立支援日常生活の充実のための活動等)を複数合わせて行っている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	それぞれの支援計画をもとに活動の設定、支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	毎日活動の狙いや知識を共有しながら立案している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	月ごとに主となる活動を設定し、クラスやそれぞれの児童に合わせて適宜変更を行っている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	ニーズや発達状況に応じて可能な範囲で個別での活動を支援計画に盛り込んでいる。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	必ずMTGを行い、支援の内容や役割分担を確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	必ず振り返りを行っている。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	前回の記録を必ず確認し、次回の支援内容に繋げていけるよう意識している。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半年に一度行っている。	
----	---------------------------------------	-------------	--

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	相談支援事業所から出席依頼があれば出来る限り出席している。出勤状況により出席できる職員が参加しているが、内容の共有は必ず行っている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		今後、役所の保健師や保育園、学校との連携を行えば良い。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	医療的ケアが必要な児童の受け入れがない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	医療的ケアが必要な児童の受け入れがない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		今後保育所や認定こども園と情報共有をしていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		今後より小学校との情報共有をしていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	支援者会議等を通して意見交換を行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		現在は限られた営業時間の中で実施するのは難しく実施していない。今後ご希望があれば検討していく予定。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		積極的に情報収集をし機会があれば参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	来所持、フィードバック時に出来る限り対応をし、共通理解を持てるようにしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		ペアトレに精通したスタッフが配置検討していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時、変更時に書類を提示し説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	アセスメントを行った上で支援会議を行い、保護者のニーズを取り入れたものを作成している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	フィードバック時に直接お話をする他、電話、LINEでも対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		今後保護者からの要望が多くなれば本部と相談し開催について検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	契約時に担当者が窓口の周知や説明を行っている。またフィードバックの際にも保護者様からのご意見をお聞きし、指導員間で対応を話し合うようにしている。面談等でご相談があった際は、別教室の意見も聞き、最善策を検討するよう進めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	LINEでのお知らせの他、毎月新聞やお便りを発行し活動の予定や内容を発信している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	個人情報と思われる資料はシュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管している。PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	フィードバックの他LINEを活用し、動画や画像を共有するなどの工夫をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		今後外部との交流を増やすことで、情報交換の場を増やしていきたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	契約時に保護者に丁寧に説明をおこない、職員間でも共有し定期的に研修及び訓練を行っている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年に2回以上色々な状況を想定し避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	契約の際に提出していただくフェイスシートにて確認しており、スタッフ間で情報の共有をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	体験会等でお菓子を提供するときには必ず保護者に確認を取っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で映像を見返して共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に虐待防止に関する研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	契約時に丁寧に説明をしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18				・とても明るくて広いスペースを確保していただいているので子供のびのび運動が出来て喜んで います ・3~4人が間隔をあけて活動できているので十分 と思える ・子供が安全に動き回れるので楽しく活動でき ている	ありがとうございます。 これからも環境の整備 に努めてまいります。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18				・手厚く子供に対応して下さって感謝しています ・よく目が行き届いている ・とても優しく素晴らしい先生方だと思います	ありがとうございます。 引き続き職員の専門性 の向上に努めてまいり ます。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの 特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮が適切になさ れているか	18				・ホワイトボードと顔写真等を上手く活用して開 始から終了までの流れや当日のメンバー確認 が分かりやすく示されていて良いと思う ・靴を置く場所、ロッカーなどすっきりしていて分 かりやすい	ありがとうございます。 これからも皆様に有意 義な情報を提供し、共 有させていただけるよ うにいたします。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環 境になっているか。また、子ども達の活動に 合わせた空間となっているか	18				・広い空間で子供たちはのびのびと活動でき ているように見える。掃除も行き届いていると思う ・明るくすっきりしていてよい	ありがとうございます。 今後も継続していきま す。	
適切な支 援の提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画が作成 されているか	17			1	・活動を通しての子供の特性と家庭での様子な どを組み込んでいただいた上で都度、希望する 支援も取り入れて頂いているので子供の意欲向 上や適切な行動の獲得に繋がっていると思う ・場当たり的なものではなく、先を見通した支援 内容になっており、かつ保護者や本人の困りご ともその都度対応して活動内容に生かされて もらえるため子供の育ちを実感できている	今後とも面談などでお 話を十分にさせていただ き、ご要望にそえるよ うに努めてまいります。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイ ドラインの「児童発達支援の提供すべき支 援」の「発達支援(本人支援及び移行支 援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支 援内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に選択され、その上で、具体的な支援内容 が設定されているか	15			3			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われ ているか	18						
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫さ れているか	17				1	・イベントもあり毎回楽しい内容で取り組んで いると思う ・とても活動の種類を沢山考えてくださっている ・いろんなイベントがあり満足しています	ありがとうございます。 これからも知識、スキル の向上に努めてまいり ます。そしてお子様た ちに楽しく運動に組み 込んでいただきたいと思 っております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流 や、障がいのない子どもと活動する機会が あるか	3	2	5	8			
保	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説 明がなされたか	17						
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」のねらい及び支援内 容と、これに基づき作成された「児童発達支 援計画」を示しながら支援内容の説明がな されたか	17				・様々な動きが次ステップの動きに繋がっている 過程がよくわかる説明なので毎回親としても学 びがあり助かっている ・毎回どういうねらいでどんな活動をし、どれくら い参加(できた、できなかった)したのか丁寧に 説明してくれる	ありがとうございます。 今後も丁寧な説明を心 掛けて参ります。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペア レント・トレーニング等)が行われているか	3	4	3	7			
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	17	1			・いつも適切にフィードバックして下さってありが とうございます ・子供の状況、課題等レッスン後の少しの時間 ではやり取りに限界があるので、レポートとして 渡してもらえるとありがたいです(毎月一回等) 他の療育で指摘された課題なども、積極的に支 援内容に繋げてもらっているため、子供にとっ ても混乱なく受け入れている印象。主な運動だけ でなくルール理解やヘルプサインの出し方など、 細やかな声掛けをしてもらっている	翌週に別時間を設ける 等の対応を検討する。 必要に応じ面談を行え るようになっています。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	3	2	2		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	7	7	・入ったばかりなのでわかりません ・イベントや茶話会があれば嬉しいです	ありがとうございます。今後状況が変わればお知らせさせていただきます。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	1		1	・いつも迅速な対応でありたいです。一つ曜日によって通所者数が異なると思いますが「自転車置き場」の混雑回避を切に願います。未就学児では特にチャイルドシート付が多いため他の利用者と重ねて駐輪するのが困難です。通所人数が多い日などは駐輪スペースの拡大をお願いいたします。	本部及び管理会社と相談し契約できる駐輪場を増やせるかを確認し、検討して参ります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16			1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	2		1	・LINE上での情報も助かるが個人的には紙面での日程表や活動報告などの発信も希望します。ペーパーレス化で難しい時代でしょうか？ ・まだ大きな災害にあったことはないが、子供の発達度合いに関係なくある日突然襲ってくるものなので、その時に備えるのは大切だと感じた。「先生と落ち着いて階段を下りる」ということが出来るように訓練してもらい、とてもありがたく思っている	毎月必ず療育内容のお知らせと新聞の作成を行い、掲示したうえでそれぞれ複数印刷し、希望者が取れるようにして参ります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	13	1		1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	13	1		1	・マニュアルは入所時に説明を受けました。訓練も毎月実施されているのを予定表で確認していますが、実施内容も関しての詳細は子供からも教室からも発信がないため理解できていません	避難訓練の流れを紙面にし、PDF化もしくは掲示して見てもらうことを検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1				
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				・先生も好きで、楽しく通っています。こんなことしたよと教えてくれます ・とても楽しんでいる ・今日はどんな運動か、友達が来ているか、楽しみにしている	貴重なご意見ありがとうございます。今後も更にご満足いただける支援をスタッフ一同で提供できるよう、より一層努力してまいります。宜しくお願いいたします。
	23	事業所の支援に満足しているか	15				・楽しみながら運動できるのがとてもいいと思います	貴重なご意見ありがとうございます。今後も更にご満足いただける支援をスタッフ一同で提供できるよう、より一層努力してまいります。宜しくお願いいたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

	チェック項目	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	建築基準法に基づき限られた空間の中で、事故や怪我がないように配慮しながら行っている。	
	2 職員の配置数は適切である	必要な時には他教室からヘルプを要請することが出来る。	一人一人の職員のスキルアップを常に意識し、振替や追加で利用児童が増えた際にも問題なく対応できるよう心掛ける。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	視覚的な環境整備をしている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	活動の前後に確認と振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	必要に応じてフィードバックで保護者様の意向の確認を行っている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	自己評価表をHPで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		現状は第三者評価を受ける体制にはなっていないが、昨今の社会情勢を鑑みると今後必要になってくると思われる。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	会社内で必要な研修が受けられるよう配慮されている。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		外部機関との合同研修に参加できる機会を増やせるようにする。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		現在標準化されたアセスメントツールは存在しないため、今後作成し、運用していく予定。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	毎日活動の狙いや知識を共有しながら立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	月ごとに主となる活動を設定し、クラスやそれぞれの児童に合わせて適宜変更を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	平日、休日、長期休暇に応じて活動内容を考慮している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	ニーズや発達状況に応じて可能な範囲で個別での活動を支援計画に盛り込んでいる。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	必ずMTGを行い、支援の内容や役割分担を確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	必ず振り返りを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	正しく記録を取り、前回のものを必ず確認したうえで次回の支援内容に繋げるよう意識している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	半年に一度行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	ガイドラインに則った支援を行っている。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	相談支援事業所から出席依頼があれば出来る限り出席している。出勤状況により出席できる職員が参加しているが、内容の共有は必ず行っている。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	学校のHPを確認するなどしてスケジュールを確認している。	今後トラブルが発生した際などの連絡がスムーズにいくように改めて必要なことを確認していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	医療的ケアが必要な児童の受け入れがない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		今後保育所や認定こども園と情報共有をしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		今後より小学校との情報共有をしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	支援者会議等を通して意見交換を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		今後より放課後児童クラブや児童館との情報共有をしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		積極的に情報収集をし機会があれば参加をしていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	来所持、フィードバック時に出来る限り対応をし、共通理解を持てるようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		ペアトレに精通したスタッフが配置されるとよい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	契約時、変更時に書類を提示し説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	職員間で話し合ったうえで面談、電話、LINEなどで必要とされる支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		ペアトレに精通したスタッフが配置検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	窓口を作り対応できる体制を整えている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	LINEでのお知らせの他、毎月新聞やお便りを発行し活動の予定や内容を発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	個人情報と思われる資料はシュレッダーを掛け、カギ付き書庫の中に保管している。PC等からの個人情報へのアクセスについても、セキュリティソフトを導入して対応している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	フィードバックの他LINEを活用し、動画や画像を共有するなどの工夫をしている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	今後外部との交流を増やすことで、情報交換の場になりよいと思う。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	契約時に保護者に丁寧に説明をおこない、職員間でも共有し定期的に研修及び訓練を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	年に2回以上色々な状況を想定し避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	定期的に虐待防止に関する研修の機会を設けている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	契約時に丁寧に説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	体験会等でお菓子を提供するときには必ず保護者に確認を取っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	その都度記録し、全職員で映像を見返して共有するとともに、今後の対応策を話し合い実践している。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	1		1	とても広いので運動を思いきり出来ている様子です。見学したことが無いので分からない。	ありがとうございます。これからも環境の整備に努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14			6	その観点で設備等に注意していなかった。	ありがとうございます。これからも皆様に有意義な情報を提供し、共有させていただけるようにいたします。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	20				ニーズを書面や口頭で伝えられたものが反映されています。	今後とも面談などでお話を十分にさせていただき、ご要望にそえるように努めてまいります。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	20				季節に合わせたイベントを考えていただいていると思います。工夫されているので今週は何するのかな、と楽しく通っています。	ありがとうございます。これからも知識、スキルの向上に努めてまいります。そしてお子様たちに楽しく運動に取り組んでいただきたいと思っております。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	9	6	特に必要とは思わない。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	20				毎回丁寧に状況を伝えていただいております。毎回お話ができるので意思疎通が図れています。性格、特性をよく理解してくれていて様子を教えてくれる。	翌週に別時間を設ける等の対応を検討する。必要に応じ面談を行えるようにしていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2			面談時にしっかりいただいております。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	8	4	私的に必要ないと思っているのでなくても。待機している間に会話出来ている。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	1		5	苦情はありませんが、このようにしてほしい、という要望をしっかりと聞いていただいております。他の利用者から苦情が出たことがあるのか分からない。	今後も必要に応じて対応していく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20				毎回フィードバックで詳しくお話いただいております。フィードバックの時間ありがとうございます。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	1			イベント等案内をLINE等で送っていただき、把握しやすいです。TAKUMI便り楽しかったです。LINEでもいいのでいろいろ送ってくれると嬉しいです。	毎月必ず療育内容のお知らせと新聞の作成を行い、掲示したうえでそれぞれ複数印刷し、希望者が取れるようにして参ります。
14 個人情報に十分注意しているか	19			1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	1		1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20					

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

2023年度

事業所名 TAKUMI西宮教室

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	2	毎回とっても楽しみにしています。 大好きな場所です。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も更にご満足いただける支援をスタッフ一同で提供できるよう、より一層努力してまいります。宜しくお願いいたします。
	18	事業所の支援に満足しているか	20		工夫していただき、毎回楽しく活動しています。先生方に感謝しています。とても満足しています。ずっと続けて通いたいです。いつもありがとうございます！私も行くのが楽しみです！	貴重なご意見ありがとうございます。今後も更にご満足いただける支援をスタッフ一同で提供できるよう、より一層努力してまいります。宜しくお願いいたします。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。